

◆ 今週のコメント

- 梅毒の報告が2例(30歳代男性1例, 40歳代男性1例)あり, 本市の累積報告数は28例となりました。近年, 報告数が増加傾向にあり, 特に20～30歳代女性の報告数が増えています。重症化及び感染拡大を防ぐためには, 早期発見, 早期治療が非常に重要です。

京都市では, 平日昼間, 土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。感染が気になる方は, 症状の有無に関わらず検査を受けましょう。詳細については, 下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

また, 梅毒の感染経路, 症状, 予防等については下記URLを御参照ください。

○梅毒に関するQ&A(厚生労働省ホームページ)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

- ヘルパンギーナの定点当たり報告数は0.43(18例)となり, 前週より減少していますが, 全国では0.93となり第18週から9週連続で増加しています。流行期が近づいていることから今後の発生動向に注意が必要です。手洗いうがいを励行して予防に努めましょう。

◆ 今週のトピックス: <手足口病>

- 京都市における手足口病の定点当たり報告数は4.48(188例)で, 先週の4.02(169例)から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 8例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 4例
【1月以降の累積報告数 185例(肺結核 93例, その他結核 27例, 潜在性結核感染者 65例)うち喀痰塗抹陽性 49例】
- 五類: 梅毒2例【1月以降の累積報告数 28例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.36	309
	② 手足口病	4.48	188
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.60	109
	④ 突発性発しん	0.57	24
	⑤ ヘルパンギーナ	0.43	18
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

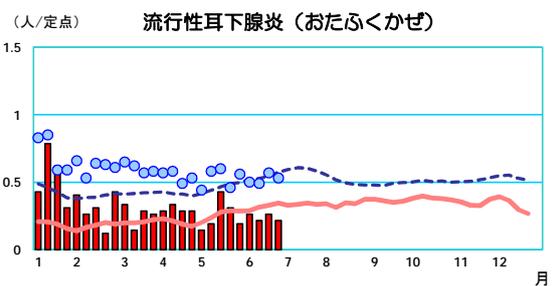
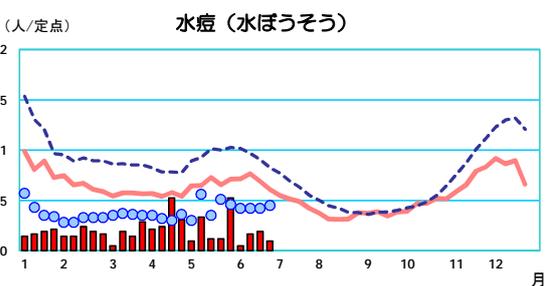
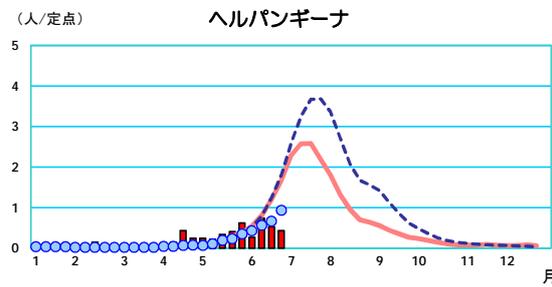
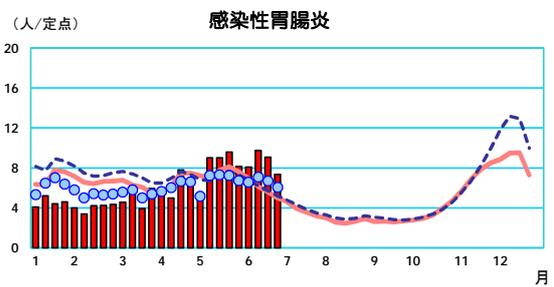
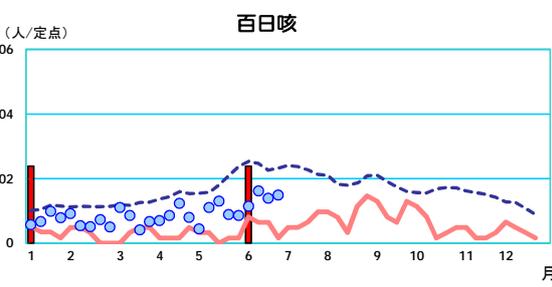
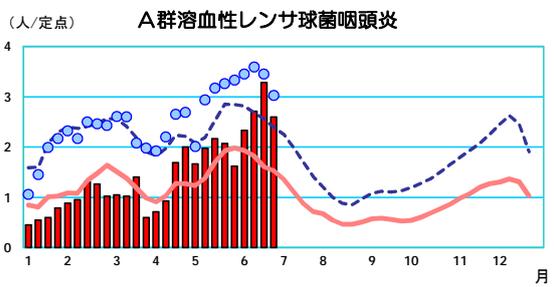
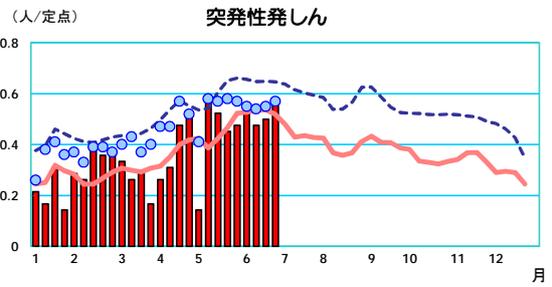
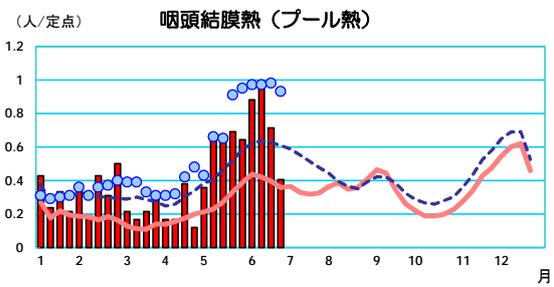
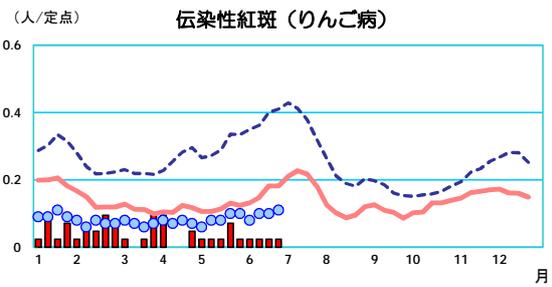
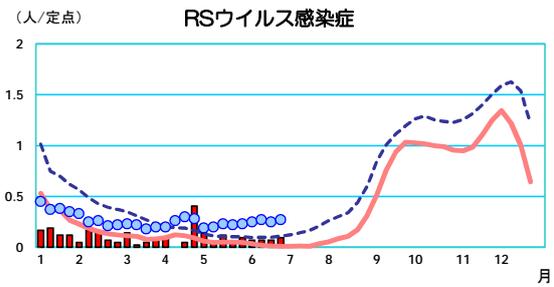
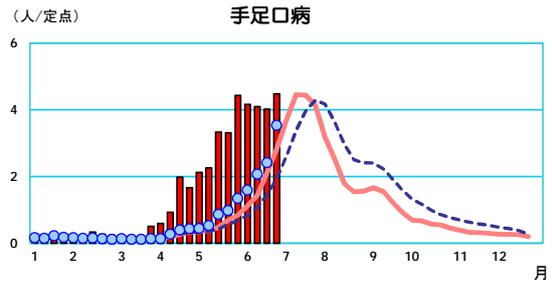
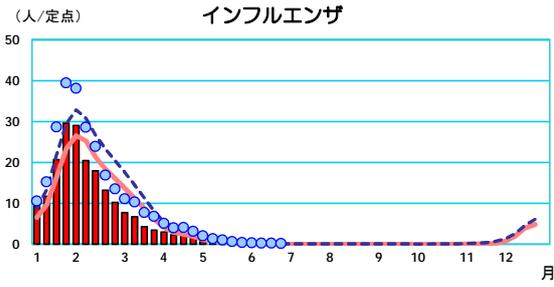
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <手足口病>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成29年7月5日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第26週(6月26日～7月2日)トピックス: <手足口病>

京都市における手足口病の定点当たり報告数は4.48(188例)で、先週の4.02(169例)から増加しました。第13週から本市の過去5年平均値を上回って推移し、警報開始基準値の「5」に近づいています(図1)。

行政区別で見ると、伏見区では第16週から、南区と右京区では第18週から、左京区では第22週から、上京区では第25週から警報に相当する状態が継続しています(表1)。

警報とは:
 警報は、大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われる状態を示します。定点当たり報告数が警報開始基準値以上で開始され、開始基準値を下回っても、終息基準値を下回るまで継続されます。
 感染症ごとに基準値が定められており、手足口病の警報開始基準値は5、終息基準値は2です。

手足口病は例年夏に流行することに加え、本年の定点当たり報告数の増加は、大流行した平成27年と似た傾向が見られます(図2)。今後の十分な警戒が必要です。

手足口病に罹患するのは、就学前6歳未満の小児がほとんどです。本年第26週までの京都市における報告では、6歳未満が96.6%、中でも0歳～2歳が84.3%と圧倒的に多くの割合を占めていますので、引き続きこの年齢層の乳幼児に特に注意を払ってください(図3)。

手足口病の予防には手洗いが効果的です。3歳程度までの乳幼児では、周りの大人の手洗い、特に排泄物処理後の手洗いに加え、おもちゃなど子どもの口や手に触れるものを清潔に保つことに留意してください。自分で手洗いのできる年齢の幼児には、それぞれの発達に応じて手洗いを指導しましょう。

図1 京都市と全国の流行状況

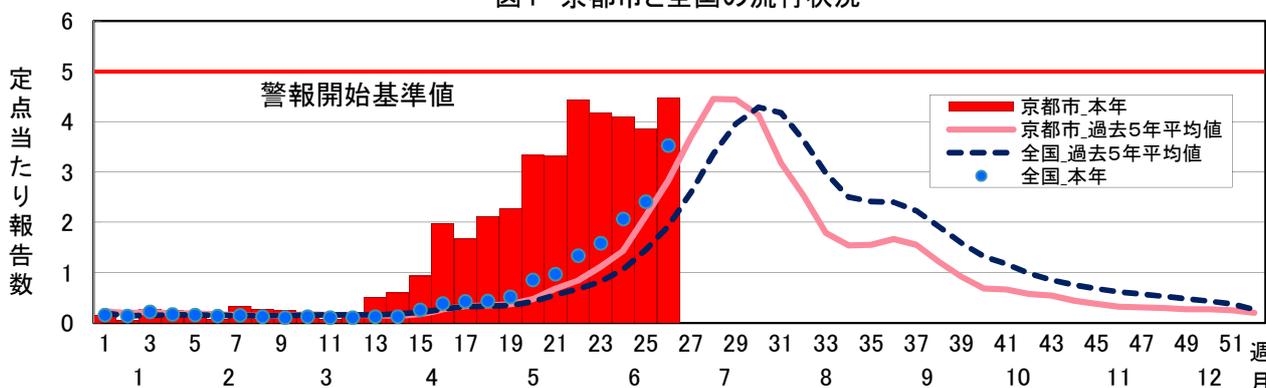


表1 京都市の行政区別定点当たり報告数の推移

週	1	2	3	...	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
北区				...			0.25					0.75	0.25	1.25	0.75	1.25	0.25	0.75	
上京区				...		0.33		0.67	1.33	0.67	2.00	3.33	1.67	2.67	1.00	3.33	5.33	2.67	
左京区	1.00			...					0.25	0.75	0.75	2.75	4.25	6.75	11.75	5.50	5.25	6.00	
中京区			0.67	...			1.33	1.00	1.00	1.33	2.00	3.00	1.67	2.67	3.33	3.00	3.67	1.67	
東山区		0.50		...		0.50		1.00		2.00	1.50	4.00	1.50	2.00		2.00	1.00	1.00	
山科区			0.75	...		0.25	1.25	1.50	2.00	2.50	0.25	1.75	1.75	2.50	1.75	1.75	1.25	2.25	2.50
下京区				...								1.00	1.00	0.50	2.00	0.50	2.50	2.00	
南区			0.67	...		1.67	1.67	1.33	4.00	2.67	5.00	6.00	5.00	4.00	6.33	3.67	2.67	4.67	3.67
右京区	0.20	0.20		...		1.00	0.60	0.40	1.80	3.40	7.00	5.00	5.80	5.40	8.60	5.80	7.20	7.40	9.60
伏見区	0.14		0.43	...		1.14	1.57	2.71	6.14	3.00	3.14	3.14	3.43	6.43	7.14	6.29	9.29	5.14	7.43
西京区			0.20	...		0.20		0.80	0.60	1.20	0.60	1.00	4.40	2.40	2.80	3.40	1.40	3.40	4.20
京都市合計	0.14	0.05	0.26	...		0.50	0.60	0.93	1.98	1.67	2.12	2.26	3.33	3.31	4.43	4.17	4.10	4.02	4.48
全国	0.16	0.14	0.22	...		0.13	0.13	0.26	0.39	0.43	0.44	0.52	0.86	0.97	1.34	1.59	2.07	2.41	3.53

網掛け部分は警報相当

図2 年別発生状況(京都市)

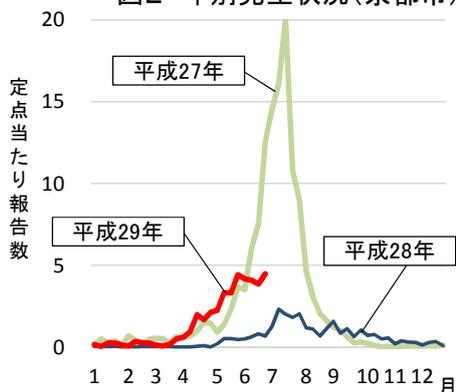
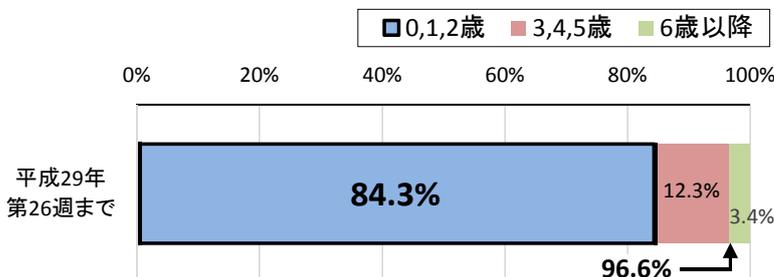


図3 手足口病の報告における年齢別割合(京都市)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第26週

疾病,行政区別報告数

平成29年6月26日～平成29年7月2日

データ入手日:平成29年7月5日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	2	3	4	-	3	-	-	-	-	-	-	2						
上京	-	-	1	2	25	-	8	1	1	-	-	1	-	1						
左京	1	-	-	14	40	-	24	-	1	-	2	-	-	-						
中京	-	-	2	7	11	-	5	-	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	2	17	-	2	-	1	-	1	-	-	-						
山科	-	-	1	6	7	2	10	-	2	-	2	2	-	1						
下京	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	1	4	26	-	11	-	4	-	3	-	-	-						
右京	-	4	3	33	42	-	48	-	4	-	3	1	-	4						
伏見	-	-	5	22	100	2	52	-	6	-	3	1	-	-						
西京	-	-	2	16	36	-	21	-	4	-	1	3	-	-						
京都市計	1	4	17	109	309	4	188	1	24	-	18	9	-	8	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	0.50	0.75	1.00	-	0.75	-	-	-	-	-	-	2.00						
上京	-	-	0.33	0.67	8.33	-	2.67	0.33	0.33	-	-	0.33	-	1.00						
左京	0.14	-	-	3.50	10.00	-	6.00	-	0.25	-	0.50	-	-	-						
中京	-	-	0.67	2.33	3.67	-	1.67	-	0.33	-	1.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1.00	8.50	-	1.00	-	0.50	-	0.50	-	-	-						
山科	-	-	0.25	1.50	1.75	0.50	2.50	-	0.50	-	0.50	0.50	-	1.00						
下京	-	-	-	-	0.50	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	0.33	1.33	8.67	-	3.67	-	1.33	-	1.00	-	-	-						
右京	-	0.80	0.60	6.60	8.40	-	9.60	-	0.80	-	0.60	0.20	-	4.00						
伏見	-	-	0.71	3.14	14.29	0.29	7.43	-	0.86	-	0.43	0.14	-	-						
西京	-	-	0.40	3.20	7.20	-	4.20	-	0.80	-	0.20	0.60	-	-						
京都市計	0.01	0.10	0.40	2.60	7.36	0.10	4.48	0.02	0.57	-	0.43	0.21	-	0.80	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第26週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年6月26日～平成29年7月2日

データ入手日:平成29年7月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	4	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		17	-	-	7	3	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		109	-	2	4	4	17	11	14	9	9	8	4	16	-	11	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		309	2	32	58	40	33	32	19	15	12	4	6	28	-	28	-	-	-	-	-	-
水痘		4	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		188	2	35	74	40	12	10	3	2	3	1	1	1	-	4	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		24	1	13	5	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		18	-	2	8	2	4	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		9	-	-	1	1	-	1	1	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1	1	1	1
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.10	-	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.40	-	-	0.17	0.07	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.60	-	0.05	0.10	0.10	0.40	0.26	0.33	0.21	0.21	0.19	0.10	0.38	-	0.26	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		7.36	0.05	0.76	1.38	0.95	0.79	0.76	0.45	0.36	0.29	0.10	0.14	0.67	-	0.67	-	-	-	-	-	
水痘		0.10	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		4.48	0.05	0.83	1.76	0.95	0.29	0.24	0.07	0.05	0.07	0.02	0.02	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.57	0.02	0.31	0.12	0.10	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.43	-	0.05	0.19	0.05	0.10	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.21	-	-	0.02	0.02	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.30	0.10	0.10	0.10	0.10
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第26週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年7月5日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		15	6	1	1	-	1
RSウイルス感染症		2	4	3	3	3	4
咽頭結膜熱		29	27	37	40	30	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		87	68	98	114	138	109
感染性胃腸炎		403	342	339	409	381	309
水痘		5	22	2	7	8	4
手足口病		139	186	175	172	169	188
伝染性紅斑		3	1	1	1	1	1
突発性発しん		19	20	22	20	21	24
百日咳		-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ		17	26	11	31	22	18
流行性耳下腺炎		13	8	11	9	11	9
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	2	4	8	5	8
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		736	712	705	815	789	692

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.22	0.09	0.01	0.01	-	0.01
RSウイルス感染症		0.05	0.10	0.07	0.07	0.07	0.10
咽頭結膜熱		0.69	0.64	0.88	0.95	0.71	0.40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.07	1.62	2.33	2.71	3.29	2.60
感染性胃腸炎		9.60	8.14	8.07	9.74	9.07	7.36
水痘		0.12	0.52	0.05	0.17	0.19	0.10
手足口病		3.31	4.43	4.17	4.10	4.02	4.48
伝染性紅斑		0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
突発性発しん		0.45	0.48	0.52	0.48	0.50	0.57
百日咳		-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.40	0.62	0.26	0.74	0.52	0.43
流行性耳下腺炎		0.31	0.19	0.26	0.21	0.26	0.21
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	0.20	0.40	0.80	0.50	0.80
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		17.69	17.05	17.08	20.00	19.17	17.08

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。